

RFT2-E型

仕様表

型 番		RFT2-9500E	RFT2-12000E
給気風量範囲	m ³ /h	7600~10450	9600~13200
	m ³ /min	126.7~174.2	160.0~220.0
放熱空気風量	m ³ /h	17500	22000
	m ³ /min	291.7	366.7
再 熱 器		ホットガス方式	
2ウェイ回路		対応品	
冷 媒		R407C	
電 源		三相 200V 50/60Hz	
給気側ファン	タ イ プ		両吸込多翼形
	駆動方式		ファン・モータ直結式 インバータ駆動
	モータ	タ イ プ	全閉外扇形
		出力(kW)	7.5
	消費電力	kW	4.84
	機外静圧	Pa	500
放熱側ファン	タ イ プ		プロペラ形
	駆動方式		ファン・DCモータ直結式 ON-OFF制御
	モータ	タ イ プ	全閉形
		出力(kW)	0.7×2
	消費電力	kW	1.3
	熱交換コイル		10Φ相当楕円銅管・高性能アルミフィン
加 湿 器		気化式加湿器	
エアフィルタ	ブ レ	質量法70%	
	メ イン	中性性能フィルタ(比色法65%)	
制御装置	本 体	圧縮機容量2段階制御、実績データログ、自己診断ログ	
	インターフェイス	通信ポート(RS-485)、運転状態出力、異常出力 給気ファン運転状態出力、外部運転入力	
保護装置	冷媒回路	高圧圧力開閉器、低圧圧力開閉器 圧縮機吐出温センサ、過負荷継電器	
	ファン	インバータ電子サーマル、ヒートシンクサーモスタット	
ケーシング	外装板	ガルバリウム鋼板・サンドイッチパネル(給気側のみ)	
	ドレンパン	ステンレス鋼板	
騒音レベル	dB	62	64
質 量(kg)	フー ド	40	45
	本 体	1520	1610

- 仕様は給気風量が型番数値のときを示します。
- 消費電力は上記仕様表(定格値)の場合を示します。
- 騒音レベルはOA型のときを示し、機体より1.5m、高さ1.0mで吐出音の影響無し(吸込音は含む)での算術値です。
- 給気側ファンの消費電力はOA型のときを示します。
- スイッチの温度設定、湿度設定はRA、MA型のRCモードのみ。
- メインフィルタとして多機能ナクレットフィルタ(P20参照)を装着する場合は、ご指示ください。

RFT2-E型

■運転パターン参考値(RFT2-E-OA型)

吸込温度(℃)	-6-4-202468101214										
<運転モード>	加熱運転										
<給気温湿度>	4.1℃	7.5	10.9	15.3	18.7	20.1	16.9	18.9			
	64%	62%	61%	59%	57%	54%	66%	65%			
<給気風量>	100%										
<容量制御>	100%							50%			
<気化式加湿器>	運 転										

吸込温度(℃)	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40											
<運転モード>	外気冷房運転			除湿・再熱運転											冷 却 運 転										
<給気温湿度>	14.0℃			20.0		12.3		15.2		18.1		16.6		19.7		22.9		26.0		27.2					
				15.2		(80%)		19.4		19.8		(70%)		23.0		95±3%									
<給気風量>	100%			100%																					
<容量制御>	0%			50%											100%										
				50%				100%																	
<気化式加湿器>	停止																								

- 給気風量型番数値、標準運転/パターンのときを示します。
- 冷却運転 吸込温湿度条件 外気：DB≤38℃のときRH=63%、DB>38℃のときRH=55%
- 加熱運転 吸込温湿度条件 外気：DB≤ 7℃のときRH=87%、DB> 7℃のときRH=75%
- 除湿再熱運転 吸込湿度条件 外気：RH=85%
- 加熱は50Hz、冷却は60Hzを示します。

- 備考
1. 外気吸込温度が-6℃より低い場合は使用できません。
 2. 運転パターンを変更したい時は予めご指示ください。
 3. 加熱運転時、給気が設定温度に達してから加湿を開始します。
 4. 加熱・送風運転時(送風モードを除く)、外部信号入力による気化式加湿器のON-OFFも可能です。
 5. 着霜時には圧縮機保護のため給気温度は低下します。
 6. RFT2-E-OA型は外気処理専用機であり、室温は室内機にて調整してください。
 7. 使用条件により冷却・加熱運転範囲でも送風運転となることがあります。

■使用環境

	外気・周囲条件	還気条件	供給電圧
乾球温度(DB)	-6~+40℃	+5~+33℃	定格電圧
湿球温度(WB)	+31℃以下	+25℃以下	環 境
相対湿度(RH)	35~90%	35~90%	標高1000m以下 腐食性、爆発性ガスのないこと 粉塵、油分が特にひどくないこと

注) 本体内通過空気との温度差が大きいときは、表面に結露する場合があります。